

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市古江台3丁目計画	階数	地上7F 地下1F
建設地	大阪府吹田市古江台3丁目	構造	RC造
用途地域	中高層住居専用地域	平均居住人員	410 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年5月19日
敷地面積	4,813 m ²	作成者	(株)D&D建築設計事務所 竹内康人
建築面積	1,531 m ²	確認日	2019年5月20日
延床面積	8,643 m ²	確認者	(株)D&D建築設計事務所 泉尾良人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 77% (141 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

音環境	2.7
温熱環境	2.9
光・視環境	3.4
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周囲への圧迫感を和らげ、街並み・景観に溶け込むような建築計画とした。	特になし。	
Q1 室内環境 外皮性能として、住居部分は断熱等性能等級3を満たす計画とし快適な室内環境を整えられるよう努めた。	Q2 サービス性能 躯体の耐用年数として、日本住宅性能表示基準における劣化等級3を満たす計画とし耐用年数向上を図る計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで、地表面温度上昇を極力抑える計画とした。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。	LR2 資源・マテリアル 解体時におけるリサイクルを促進する配慮として解体時に躯体と仕上材が容易に分別可能な仕上とした。	LR3 敷地外環境 屋外照明に関して広告物照明は設置せず、適切な範囲で計画して外に漏れる光に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0030

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)吹田市古江台3丁目計画 新築工事					
		建設地	大阪府吹田市古江台3丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					3		
③	建物の断熱性					3		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.9	4		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			3.0	3		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			3.7	4		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								